

2008 年前期岡山観測所プログラム小委員会議事録(案)

日時:2007 年 11 月 13 日

場所:ピュアリティまきび(岡山市)

出席:比田井、山下、中村、木下、青木、伊藤、西浦、柳澤

Ex-Officio: 吉田、泉浦、岩田

1. 議事録確認

前回の議事録が配布され、承認された。

2. ステータス報告:資料あり

吉田所長より、岡山観測所ステータス報告がなされた。また装置状況については装置 PI より説明がなされた。

- HIDES: 資料あり。Mosaic CCD Camera 導入の状況についての説明が泉浦よりなされた。Mosaic 化により、波長カバレッジが 3750 オングストローム, MFront2 導入で読み出しがおよそ 30 秒、ノイズは 5 電子以下。作業は順調に進んでいて、12 月に現行のシングル CCD から Mosaic CCD に置き換える予定。
- ISLE: 資料あり。10/18 に ISLE の Science Grade Array 検出器が壊れたので、Engineering Grade に置き換えた旨、柳澤から報告があった。新しい Science Grade Array は来年夏に入手予定。
- KOOLS: 資料あり。KOOLS の現状と試験観測の結果について岩田より報告があった。冷凍機を更新して安定した冷却が実現し、ノイズ対策の結果 9-11 電子のノイズを実現した。

3. 188cm 望遠鏡課題審査

① 研究課題申請状況確認:

◇ カテゴリー別:プロジェクト:継続1件 (35夜)、学位支援プログラム:新規1件 (7夜)、一般:18件 (156夜)、合計:20件 (198夜)

◇ 分野別:Solar System 0、Stars 9、Star formation 4、Interstellar 1、Galactic 3、Extragalactic 2、Instrument 0、Other 1

◇ 装置別: HIDES 7、ISLE 6、KOOLS 5、HBS 2

② 共同利用提供夜数確認:

◇ 観測所より提出された観測所時間要求内訳をもとに議論した結果、120夜を共同利用に提供することになった。

◇ 共同利用期間:157日 (1月4日 ~ 6月8日)

◇ 観測所時間:37日

- 特別観望会: 1, 観測実習:2
- エンジニアリングタイム:HIDES:5, ISLE: 5, KOOLS: 5, HBS:1(HBS の課題が採択されたら)
- 日韓共同惑星探査計画:9
- 観測所時間(サイエンス): 9

③ プロジェクト観測(継続)の審査

- 論文も出てきており、それなりの成果がみとめられる。
- Instrumental Profile は、Gaussian を複数重ねることで再現している。現在の精度は GK Giants で 5m/s, プロキオンでは 2m/s が出ている。
- 議論の結果、要求どおり 35 夜認めることとなった。

④ 学位支援プログラム(新規)の審査

- 結果が出るかどうかは不安であるものの Science の重要性についてはレフェリーも委員会も認める。学位支援プログラムの目的から、たとえ結果が negative results であっても採択してよい。
- 議論の結果、7 夜与えることにした。

⑤ 一般観測の審査

議論を経て、以下の課題を採択し、夜数を配分した。

氏名	研究課題	夜数
佐藤 文衛	視線速度精密測定による G 型巨星の惑星サーベイ II.	35
竹田 洋一	近赤外観測に基づく太陽類似星の恒星活動に関する統計的研究	7
安藤 裕康	G型巨星の星震学—惑星をもつ親星への応用—	9
豊田 英里	ドップラーシフト法による連星系の系外惑星探査	12
比田井 昌英	惑星を持つ星の軽元素と鉄族元素の組成	5
中西 裕之	Spectroscopic observation for OB star candidates in the outer Galactic disk	7
八木 雅文	Infrared imaging of nearby E+A galaxies III	7
高木 悠平	I バンド高分散分光観測による前主系列星の表面重力測定法の確立	4
長谷川 隆	Old open clusters of possible accretion origin?	5
丹羽 隆裕	誘発的星形成領域 W5-East の近赤外測光観測	
伊藤 信成	K-band 撮像による edge-on 銀河の scale height の測定 II	4
栗山 純一	フレア星 AD Leo の高時間分解能低分散分光観測による恒星フレアの機構の解明	5

今田 明	矮新星の近赤外測光観測(3)	8
亀浦 陽子	強輻射場における星間偏光特性:塵粒子整列機構の観測的検証	7

4. その他

● 匿名 PI 制に関するアンケート調査

- PI を匿名にしてレフェリーに審査を依頼することに関して、過去のレフェリーにアンケートをとった。
- アンケート結果は、賛成・反対ほぼ同数であった。この結果をうけて、委員会においてもしばし議論が行われたが、委員会メンバーからも賛否両方の意見が出され、どちらかの意見に収束することはなかった。
- 匿名 PI 制の問題点を認識しつつも、しばらくは継続することになった。

● 審査に関する情報の募集要項への記述

- 現状では 2 つのカテゴリー(星 & 星形成、銀河系 & 系外銀河)にわけて審査している。必ずしも、すべて同じ分野の専門家によって審査されているわけではないことが、応募者に連絡されていないのは書類作成上、問題であると指摘があった。
- 希望した分野のレフェリーに渡らない可能性があるため、専門でない人にもわかるように書くように短い文章をいれることになった。